



幕末・維新史のひとこま

## 戊辰戦争と深江の漁師

深江財産区管理会会長 太田垣正雄

史料館だより  
第7号  
1985・10・30

特集・地域文化と国際青年年  
編集 田辺眞人  
発行 神戸・深江  
〒650 神戸市東灘区深江本町3-1-9-7  
電話(078)453-4980

生活文化史料館

慶応三年（一八六七）第一次第二次征長に失敗した幕府は討難の表と薩藩の罪状書をたずき、老中格大河内正貫・若年寄並塚原昌義を正副總督として、本營を淀に進めた。これに対し朝廷では大久保利通らの強硬論により幕府軍討伐を決定、薩長十三藩に京都の防備強化を命じた。

翌正月三日会津桑名の藩兵および幕府兵は鳥羽伏見の両街道を北上し、南から京都にはいろいろとした。夕刻鳥羽閑門あたりで薩藩藩兵が長州藩兵と衝突しついで伏見でも会津藩兵が長州藩兵と衝突した。

幕府軍は優勢であった。しかし夜半に至つて幕府軍は鳥羽伏見から退いた。

この日議定小松宮嘉彰親王、軍事總裁となり四日征討大將軍として錦旗と節刀を受け、薩長十三藩兵

からなる朝廷軍を率いて大阪に向つた。

六日夜徳川慶喜は大阪城を脱出し海路江戸に帰つた。もはや頼勢のばん回不可能となつたからである。それに追討をかけるように朝廷は七日正式に慶喜討伐令を発し、十日慶喜をはじめ会津藩・松平容保・桑名藩（松平定敬）など佐幕藩主旧幕臣の官位をとりあげ幕府直轄領を朝廷領とする布告した。

ここに公然と「朝敵」の名を付され戊辰戦争の幕が切られた。

二月朝廷軍（薩摩・長州・土佐・肥前の諸藩兵）は江戸をめざして京都を進発し士氣を鼓舞し東へ進んだ。

ところで鳥羽伏見の戦で傷ついた、薩長の藩兵の一部は淀川を降り深江浜に辿りついた。

深江の漁師は乞わるまま漁船をあつめ、密にこ

れ等負傷兵を海路兵庫の津へ送り届けた。

このことが後日奉行所（大阪代官・兵庫勤番所）に

知れ漁師は百叩の刑に処せられた。これは维新世状

混亂と幕威日に地に落ちるとき处罚も軽くすんだもの



第3回魚屋道を歩く会

深江から東六甲最古の山越え道であるトトヤ道を通して、史料館友の会では毎年10月10日の体育の日にこの道を歩く歴史ハイキングを行う。午前9時阪神深江駅に集合。（写真は1985・10・10）



昔の深江の漁業

深江の東はし、芦屋との境の浜でのイフシ網。昭和10年ごろの網ひきしごと。これらの水産物は、昭和のはじめまで、山越えに馬にも運ばれた。その道が、トトヤ道である。

## 太平洋をかこむ国々と日本を語る

三月三日の日曜日に史料館三階クリオールームでは、外国からの5人のお客様を招いて記念の会が催されました。会はまず、カナダの地理学者ジョーン・マーシュ博士の記念講演「カナダの風土と博物館」と、イザベル・マーシュ夫人の「南米チリにおける歴史教育」のあと、「太平洋をかこむ国々と日本を語る」パネルディスカッションが行われました。会場につめかけた約百名の参加者からも、熱心な問い合わせがある有意義な催しでした。後援してくださった神戸市内の各方面の皆さまには心から感謝いたします。

### スピーカー紹介

ジョン・マーシュ／カナダ・トrenton大学地理学部教授・関西学院大学文学部客員教授。英国出身。  
イザベル・マーシュ／マーシュ博士夫人・もとチリの高校で歴史教師。日本には約五ヶ月居住中。

陳 德 仁／神戸中華總商会会長・神戸華僑歴史博物館館長。神戸生まれ。大阪外語大学出身。

クリス・シブヤ／兵庫県教委に勤務。高校英語交換教師として'83年7月来日。ジョージタウン大学出身。

シヤック・カス／メルボルン・モナシ大学学生。'84年12月から留学で滞り日中。オーストラリア。

田辺 真人／県立御影高等学校教諭。史料館理事。司会・門前喜康／サンテレビジョン・ディレクター。史料館友の会幹事。

門前 ただ今からパネルディスカッションに移らせていただきます。

まず、それぞれの方に、私が紹介する自分の国、お国柄という事をご紹介いただけ、それから日本という国にどういう印象を持っていて、その辺をお話しいただこうと思います。

シブヤ 一年前に日本に来た時に、「一番びっくりしましたのは、「私は日系三世です」と日本人に言つても、「山河燃ゆ」を放送する前で、日系三世って何? と誰もわからなかつた。「ハーフのことですか?」とか。説明が最初はむづかしかつた。アメリカ人はいろいろな國から来ていています。誰が外国人で誰が本当のアメリカ人かは、もうさっぱりわかりません。私が

日本に来た時、みんな私を日本人と思いました。電車の中で会ったアメリカ人も「あなたの英語はすばらしい。どこで習いましたか」と私に聞いたのには、びっくりしました。

それと、日本人がアメリカ人に対して持っている一番強い印象は、アメリカ人は皆ビストルを持つていると思う事です。でもそうではありません。私は持つていませんし、私の知っている人たちも持つていません。

もう一つ、アメリカでの差別は非常に強いという印象がありますが、私が見るとどこも差別はありません。だんだん変わってきた。

アメリカはいろいろな州で違っています。天気も発音も方言も、考え方も違います。

今日は本当にいい機会で私もうれしく思います。

何でも質問して下さい。

門前 ありがとうございました。ではマーシュ先生、日本の印象などお話しいただけたらと思います。

J・マーシュ 日本に来てまだ五ヶ月しか経っていないので、印象というのを短い言葉で語るのは危険で難しいです。私はイギリスで生れて、二十年前にカナダに移住しました。私は今だにカナダという国がどういう国なのかを考え続けています。最初はカナダが嫌いでイギリスに帰りたいと思つていましたが、次はカナダは世界一の国だと思うようになりました。最近では良い点も悪い点もわかるようになりました。

主催・神戸深江生活文化史料館友の会  
共催・神戸史学会、神戸市民文化振興財団  
後援・神戸市、神戸市教育委員会



司会の門前喜康氏



アメリカ・ロサンゼルススからクリス・シブヤさん

日本に来た時、大変感心しました。沖縄・九州・

四国と旅行していろいろな問題も見てきました。日本を去るまでは、良い点・悪い点がわかつてくると思います。

古い物と新しい物とが同居しているところ、特に電気製品はすばらしいと思います。同時に歴史的な物、たとえば着物を着る事とか、テレビの時代劇も興味ぶかいです。また、歴史を学ぶ学生の数の多いのに驚きます。日本では史跡などが多く人が訪れるにも驚きました。京都の神社や寺院に参るのに税をとるかどうかという問題は、カナダにも同様のことがあるので、興味ぶかいです。

そのほかには、日本には緑が多いのが印象的です。そういう自然を守るのが日本人の義務ではないでしょうか。沖縄にみられたような環境破壊はとても恐しい。もっと自然を守る必要があると思います。次に政治的なことです。日本はアメリカに大変関心をもつていて、が、もっと日本人が関心をもつてもよい国があります。日本人はもっと国際的な感覚をもつた方がいいです。

最後に今、私は日本での生活がとても楽しいです。1. マーシュ 今、日本人がとても親切なのが印象的です。私は、現在、大学で歴史などを学び、その他に茶道や生け花も習っています。日本に来る前は、道が人でいっぱい歩けないほど人口が多い国に来るのだと思っていましたが、実際には、場所を選べば人のいない所もあることがわかりました。そ

して、気候が大変よくて、一年中、花が咲いているのも印象的です。カナダでは六ヶ月も、全く緑らしいものが無くなり、厳しい冬が続くのです。

日本でただ一つ嫌いなことは、テレビなどで野性動物に対する扱いです。コアラなんかを、まるでオモチャのような扱い方をしているのがきらいです。宝塚の動物園に行つてもキリンなどの大きい動物のオモチャの小さいのです。

これからも日本で多くの事を学んで、いろいろな印象が得られることと思っています。

門前 ありがとうございます。日本では道でも人にぶちあたるのではないかという話でしたが、イスベルさんの出身のチリは、面積が日本の二倍、人口は十倍の一。つくづく人の多いことを感じます。

次は、今お話を始めたコアラのふるさと、オーストラリアのマーカスさんです。

マーカス オーストラリアの人口は東京と同じなのに、面積は日本の二十一倍です。多くの都市は海岸近くにあり、内陸部は砂漠です。州によつて違うというより、都会人と内陸の砂漠の人との差が大分違います。七つの州の間の違いは、そんなにないた違いではありません。

人的な見方もしています。

門前 今のレストランの話ですが、先程いつしよにお昼を食べに行つたんですけど、ラーメン注文したら、ジャッキーさんもごいしょにラーメンを注文されまして、日本化しようと思つたられるのかなア、と……。では、陳先生お願ひします。

陳 中国は大変大きい国で、人口は十億を出します。カナダは人口二千五百万という数でしたが、二千五百万というものは現在海外にいる中国人の数でございまして。このように多くの華僑、今は華人とよびますが、これがいること、そして現在の中国がどんな国になるのかと、非常に皆さん不安であるようです。また香港はどうなるのでしょうか、華僑はこれからどのような道を進んでいくことになるのか。

日中友交協会の会長をしておりました黎承志さんから聞いた話ですが、一九七三年に中華同文校の父兄会グループで中国へ帰つた時に、こう言われたんですね。皆さんが今度中国に帰つてこられたのは愛国心があるからだ。日本に行つている大使も總領事も二・三年すれば帰つてくる。しかしあなた方は中国

3月3日は約100名の市民で史料館のクリオ・ルームは満員になりました。

田辺眞人氏



神戸華僑歴史博物館  
陳徳仁館長



オーストラリア・メルボルン  
からのジャッキー＝マーカスさん。

人として、日本人に嫌われないよううにそして中国人のプライドを高めるようにして、中日友好をはかってほしい。今こそ本当に中国と日本は提携しなければならない時だと、そう言わされましたね。

華僑が日本女性と結婚した時、老人達は息子の妻を中国籍に入れないですね。でも領事館へ手続きを行つても入れてくれないです。何も中国人と結婚しなからといって中国籍に入る必要はないんじやないと言われたんですね。これは国際親善でそのままいいんじゃないと言います。帰つてきたい時には、食えなくなつた時にはいつでも帰つてらっしゃい。でも民族意識はあまり強く持つてはいけないと言われました。民族意識を強く持ちすぎれば戦争が起きる。また宗教にこりすぎても例えはイラン・イラクの問題ですが非常に厳しい。インドもそうですね。

さらに胡耀邦は、日本に来ている留学生にこう言いました。今、我々は日本から学ぶのが一番いいんだ。一番近いところだ。そして日本に学んだものを中国で生かしてほしい。もし、日本と中国が交友を考えない時は世界がだめになつていく時だ、というような話をしました。

それから香港は、もし中国が治めればどうなるか、という事で多くの華僑がアメリカやカナダに亡命を考えていましたし、中にはすでに相当行っています。

つい最近ですがシングガポールの指導者に聞きますと、こう言つていました。自分達が何事をするにも、向いにいるインドネシアはどう思うだろうか、あるかと言われたんですね。これは国際親善でそのままいいんじゃないと言います。傷つけないだろうか、いつもそういう事を気がねしているんじやないかと言います。帰つてきたい時には、食えなくなつた時にはいつでも帰つてらっしゃい。でも民族意識はあまり強く持つてはいけない

と、こう言つていました。自分達が何事をするにも、向いにいるインドネシアはどう思うだろうか、あるかと言われたんですね。これは国際親善でそのままいいんじゃないかと言います。傷つけないだろうか、いつもそういう事を気がねしながら政治を行ふ事である。とにかく近隣の人達は仲良くしなければならない。自分だけいいという考え方ではダメだと言う。

そういう風に今の世界は、お互いに相手の国を思つてゐる。民族意識をあまり強く持たずに入類の平和をたどつていいこと、こういう気分が湧いてきたと私は思います。

田辺 ありがとうございました。とてもなく話

一回

ありません。

田辺 古い日本人の信仰では病氣とか不幸とかは、目に見えないチリ、汚れとか罪といいますか、これ



通訳をしてくれた中山明美さん(左)  
と寺本直美さん。

がもとで、それを取りのぞくには、この季節は雪解けの水が流れる頃ですから、これで洗うと一番効果的なんです。冷たいから人間が水に入る代りに人形をこしらえて、水辺へ持つて行って洗つたり流したりしました。流しひなというのがありますねえ。

五月の端午の節供も同じで、目に見えない罪や汚れを取りのぞくために、強い匂いも何か力があるんだろうということで、菖蒲とか蓬とかの香りで病氣や不幸を防ごう。これがもともとの端午の節供です。菖蒲とか蓬とかは中国から来たんですね。

陳 菖蒲なんかそうですね。屈原が亡くなつた時に始まつたといいます。

田辺 やつぱり匂いですか。

陳 よくわかりませんが、一つの行事になつていました。現在は無くなつたようです。

門前 チリにイースター島という島がありますね。

大きな石像がありますが、あれなど信仰の対象のよう感じがありますけど。

1・マーシュ ザつと昔の人が作つたもので、現在でも意味は全然わかつていません。

門前 それでは今から、どんどん質問をしていった

だきたいんですが。お話を参加していただき、いかがでしよう。はい、どうぞ。

Aさん 私が聞いたところオーストラリアでは十八歳ぐらいになると、お金持でも普通の家でも家を出て独立せねばならないと聞いたんですが、若い女

の人や男の人は全部自分で結婚の相手を捜すのか、親なり親戚なりが応援するのか、いかがでしようか。

マーカス 多くの場合、若い人は自分で捜します。

Aさん 親は応援しないんですか。

マーカス 私は聞いたことがあります。多くのオーストラリア人は若い時から自分で生活したいから、だいたい十八歳の頃に家を出ます。お金が無くとも、どうにかやつてきます。

Aさん ありがとうございました。

シヅヤ 私がびっくりしたのは、今、私は二十四歳になりますと、皆は早く結婚しないとオーバンになるよっています。アメリカでは、年齢なんて結婚にはあんまり関係ありません。見合いのことですが、アメリカではコンピューター紹介所が大

変人気です。カナダやチリはどうですか。

1. マーシュ チリでも見合いはありません。

J. マーシュ カナダも自分が愛したと思う人と結婚しますが、それが離婚率を高めることにもなって、三人に一人は離婚しています。見合いに似たものが東部のインディアンに少し残つており、故郷に捜しに行く事があります。

門前 中国はどうですか。

陳 今、華僑の間で一番の問題は結婚問題です。

両親は中国人同志で結婚させたいから、あちこちに年頃になると頼むわけです。が、ほとんど日本人とかがでしよう。

結婚するんです。いくら親が説得しても、最終的には自分でもちゃんと見つけてきて結婚します。華僑の子供は日本人と結婚していく、というのが現状です。

マーカス 日本人に一つ質問があります。日本人は結婚生活がうまくいかなくとも、がまんしている人が多いですね。これはオーストラリア人にとつて驚きです。結婚していない二人が一緒に住むのは、いけないことだと思いますか。

門前 同棲の事をどう思うか、という事ですね。

いかがでしようか。

Aさん それに対して質問があるのですが、愛しあつていて、一緒に住んでいて結婚しない一番大きな理由は何でしょう。

マーカス 結婚をたいして強くとらえていないくて、結婚のライセンスは欲しいと思わない人が多いです。

門前 うまくいっている田辺先生、いかがですか。

田辺 彼女の質問にまだ答が出ていませんが、日本で結婚にはあんまり関係ありません。見合いのことですが、アメリカではコンピューター紹介所が大

きになりますと、皆は早く結婚しないとオーバンになるよっています。アメリカでは、年齢なんて結婚にはあんまり関係ありません。見合いのことですが、アメリカではコンピューター紹介所が大

きになりますと、皆は早く結婚しないとオーバンになるよっています。アメリカでは、年齢なんて結婚にはあんまり関係ありません。見合いのことですが、アメリカではコンピューター紹介所が大

きになりますと、皆は早く結婚しないとオーバンになるよっています。アメリカでは、年齢なんて結婚にはあんまり関係ありません。見合いのことですが、アメリカではコンピューター紹介所が大

きになりますと、皆は早く結婚しないとオーバンになるよっています。アメリカでは、年齢なんて結婚にはあんまり関係ありません。見合いのことですが、アメリカではコンピューター紹介所が大

そのために結婚というライセンスを必要とするのでしょうね。

門前 では会場の皆さんに聞いてみます。どうですか、同棲というのは、マーカスさんに答えてあげてください。

日さん 日本の場合は非常に難いと思います。

両親とか親戚とかの問題もあると思いますが、結婚適齢期の頃にそういう生活をすれば、まわりの人達からの評価が下るもの事実です。でも、これからは

変っていくような気もします。

門前 では、さきほどの質問ですが、同棲するのをどう思うか、では手をお上げください。

では理解できる人、お手をお上げください。

次に、やっぱり理解できない方。ははあ、さつきより少し減ったようですが、殆ど同じくらいかな。

最後に、わからぬ。どちらもないなという方。シヅヤ 私も生徒に、授業の時に手を挙げさせる

と、どれにも手を挙げない生徒が多いです。

田辺 今の三つの答えの中で、どれにも挙げなかつた人が半分弱おられるので、これも日本のだと彼女は言つているわけです。

門前 落合先生、どれにも挙手されてませんでしたが、その辺の理由はいかがでしょう。

落合 わかることはわかるけど、どの意見も出しにくいという事でした。設問の状況がよくわからぬ

いから、その三つにはいらないのです。

門前 大変に大きなテーマになつてきましたが、お約束の時間が参りましたので、ひとまず終らせていただきます。ありがとうございました。

## 深江の民俗から——その一——

史料館研究員 望月 浩

旧本庄村誌の編纂も「近世土地制度史料」が発刊されて、進みつつある。古文書などから、昔の人々の生活の様子がだんだんと浮きぼりにされているようであるが、直接、昔からの生活の様子を調べる、聞き書き調査の方も、はなはだ少しきりではあるが、色々な資料が集まっている。

今回は、これでの聞き書き調査で集まつた記録の中から、いくつかを書き記してみたいと思う。

## 一、衣

(下着)

男性はフンドシ。(イツチョウフンドシと呼んでいた)他にサルマタ・バツチなどもいた。漁師はフンドシだけであった。上半身には、長袖・半袖のシャツ、ランニングシャツ、ジーパン(ジバン)と呼ばれた、袖にボタンの付いたシャツも着ていた。女性は、腰巻をつけていた。子供は、別段何も着ていなかった。

(普段着)

男性は、マキソという筒先のとがった服を着ていた。漁師は一年中それを着、一般の人は、冬に綿入れのマキソを着ていた。子供は、ツツソテと呼ばれる着物を着ていた。女性は、かすりの着物(夏は单衣で、冬は縄入れをあわせて着ていた)。

(防寒具)

男性は、ドテラ(綿の入ったマキソの半天みたい

その他に二月に寒餅という、エビやゴマを入れておかきにしたもの、棚に干しておいたりした。

(赤飯)赤飯は、大日神社のお祭りの時、婚礼、誕生日などにいた。

お盆には、ばたもちを作つた。誕生日にもばたもちを作り、それを丈夫に育つようにと踏ませた。

四月の節句の時には、ヨモギ団子や巻きしを作つた。

## 三、住

なきとして、セッタをはいたが、普段はダタが主であつた。いろいろな種類があつて、タカゲタ、男性だけがはいたマサゲタ、そのマサゲタの後の刃が丸いアトマルゲタ、刃の入れ替えができるチユウバゲタ、コウベゲタなどがあつた。

## 二、食

(主食)

米と麦をまぜて食べていた。麦はオシムギで、七対三の割合で米が多かつた。

(保存食)

梅干・大根を漬けた物、ぬか漬、塩漬など。いわしきぬかと塩でつけた物もあつた。気候が冬も温暖なせいか、特別に保存食としての貯えはなかつた。

(食事時間)

朝は六時、七時の間。昼は十二時。晩は五時半から六時。その他にコビルというのがあつて、三時頃に食べた。漁師は、夜食なども作つて食べた。

(餅)

十二月二十八日も三十日のうち、二十九日をきけてついた。餅箱に入れて切つた。饅頭や小餅にした。



深染謹の子供の正装・大正15年撮影。  
磯辺信三さん(当時)の時。

勢音頭を唄つた。完成の時には、親戚などを呼んでお祝いをした。

・いろいろはなく、カマドがたいてい二つあった。三室荒神を祀つていた。中はレンガになつていて、外側は土をかぶせてある。燃料は木で、山から、冬の間にとつてきた。

・照明は、ろうそく→ランプ→電気と移り変わっていった。ランプをふくのは、子供たちの役目であつた。ちょうどちんもよく使つた。これには各家の紋がはいつており、お嫁さんを迎えるのにも使つた。

#### 四、信仰伝承

(講)

・摩耶講一年に一度(春、四月中頃)摩耶山に参る。参加者は大人ならば誰でも良い。頼母子でお金を積み立てて行つた。食事は、ゴマ豆腐などの精進

ダのがある  
い三をあ  
たんどの行  
はつきて  
てし位と  
ドはつきて  
き2神事な  
きで荒つ  
祝い時はす  
井戸は外が  
多い。

道

・通路  
W.C.  
フロ  
④  
用具入  
ダンカン  
カマド  
和室  
主に食事をする  
神棚  
フスマ  
和室  
和室  
フスマ  
和室  
ニワ

#### 深江に多い民家

料理を食べた。

・深栄講—詳細は史料館に展示してあるので、省略

させてもらうが、男性だけが一泊二日で大峰山に参り、行つている間は、家にいる人々も精進料理を食べ、その間、包丁・針仕事はしなかつたという。

・大師講—講元をトクタンとい、岩井さんという

人がしていた。この人も講の一人であるが、職がな

かつたので、講元を引き受け、ヒノキシンという頼

母子で葬式の道具を買い、葬式の時に飾りに行く仕

事をしていた。

・伊勢講—戦後すぐなくなつた。新しく深江に来た

人は、はいなかつた。伊勢講田として、神業新田、

神業田と呼ばれるものがあつた。

・大日靈女神社—元は、薬王寺というお寺が深江に

あり、大日如来をご本尊としていたが、途中で宗流

が変わり、ご本尊が阿弥陀如来に変わり、そのため

旧本尊を村々が祀つたのが始まりであるという。

(寺)

・正寿寺—先に記述した薬王寺の後身だといわれて

いる。境内三六〇坪、壇徒五〇〇余戸(武庫郡誌)

(夜泣きの神さん)

創始は不詳。しかし、古くからあり、村の古老は

たていり知つてゐる。毎に泣いてくれると渠な赤ち

やんが、夜と昼とまちがえてよく泣く時に、境内の

小石を拾つてきて、枕の下に入れておくと、まちが

えないようになるという。そして、浜で境内から持

つてきた倍の数の石を取つてきて、境内に供えた

場所は、史料館のすぐ東北の路地奥にある。

#### (屋内の神)

家によつて祀つてゐる神はちがうが、森稲荷・

伊勢・清荒神などのお札を貼つてゐる家が多い。

#### 五、口承文藝

・昔、深江の浜に尼崎のお殿さんが沿岸警備の観察に來た。その時に浜で刀をおとしてしまつたが、それを深江の村の人々が拾つてあげたので、深江の人々は、山へ芝刈りに行けるようになった。

・山の神様が、深江の人々に「ほしい物があつたら

言ひなさい」と言うと、村の人々は口を捕えて、「山に入る権利」と答えた。

・昔、高橋川の右岸の池(現在の神戸造船大学の敷

地付近)のあたりで、弘法大師が晩泊まつた。その時に、その池に一面に生えている葦の葉をはらう

と、その後、その池では蚊がわかなくなつたという。

また、葦の葉がはらつた方向に向くようになつた。

・正徳年間、網屋の喜治郎という人が、不漁続々に困りはて、他所へ行こうと思い、高橋川まで来たと

ころ、浜が大変にぎやかなので橋の上より浜をみた

ところ、艦の大軍が浜に押し寄せ、大漁でにぎわつ

ていたので、家に急いで帰つた。そして漁を続けた

ところ、大漁が続いて、お金持になつた。それから

喜治郎は、私の足を止めてくれた橋に感謝して、石

橋に架替えた。この橋は、昭和の初めまであつたが、

今では「古橋資材」の字を刻んである部分を残し、

大日神社の境内にある。



## 年季奉公人請状之事

県立東灘高校講義 広岡俊一

年季奉公人請状之事  
一、私之介重吉等申者當年十三才ニ相成當子年五  
來ル申年迄九ヶ年之間年季奉公相應ノ則

### (一) 永田家の歴史

初代總兵衛が天明八年(一七八六年)、深江村に蔵を建て、酒造りを始めたのが、永田家の濫底である。当時、醸造高二擔石といふ。三代平治郎(平次郎)になり事業を拡大、四ヶ所の蔵を有し、二千石余りの醸造高となる。その当時永田家は、千石船を有しており、深江浜より東京(江戸)、山口(萩藩)方面に酒を輸送しており、大いに商圏の拡大に勤めていた様である。

その後、六代為一の代になり、東京、神田、松永町に蔵と店を出し、灘の清酒直売所として随分評判を取つたと言われている。

しかし、千石蔵の焼失、千石船の難波、関東大震災による打撃等が重なり、昭和十年(一九三五年)頃まで続けられた醸造業も終わりを告げた模様である。因に、酒銘は「祥瑞」(しようすい)と言う。

同家の酒蔵は深江に五ヵ所に分れて分布していた。

### 神戸深江生活文化史料館

#### (二) 年季奉公人請状之事

この永田家から史料館に寄贈された文書の中にある年季奉公人請状を読んでみよう。

注(1) 年季奉行人一人世、一定の年限を定めて、雇傭契約を結び、主家に住込み、家業、家事に従事すること。年限を切って奉公することから、年切奉公という。

(2) 判料金—判貢、江戸時代、奉公人の請人となつて、判を押した者への報酬。

(3) 法度—中世、近世を通じて、おきて、さだめ法規の意味に使用された。江戸中期以降には、一般に禁令、禁制の意味で使用されるようになった。

(4) 欠落—逐電ともいう。失踪すること。近世では、欠落者が出ると、その親類、町村役人などを尋人として、日限(ひぎり)尋ねを命じた。一回三〇日で、六回まで尋ねさせ、発見できないと別帳からはずし、尋人は罰せられる。(連帯責任制)

(5) 順座—みんなどうまくやつていけない。

(6) 順病—病でつまずく。

(7) 嘉永五年(一八五二年)。

(8) 請人—口入人ともいう。貸借関係における保証人のことで、請人になる場合には請状を出し、その所在を明らかにした。

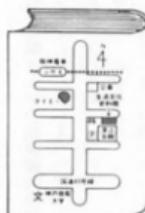
長兵衛殿

請人

源太郎

忠助

壬戌五年(一八五二年)  
子五月  
奉公人親  
攝易鬼原郡打出村



史料館をささえる友の会は、  
す。  
史料館をささえる友の会は、

従御公儀様被為仰出御法度之趣堅ク為

判料金三歩儀ニ受取申候所実正也

判料金三歩儀ニ受取申候所実正也

相守可申候萬一取逃欠落等仕候得者早速等出し本人者不及申持出候品々不残相立其元江少し茂御難儀相應ケ申間敷候則領座領病者不及申聊之病氣而茂我等方引取養生為致被申候若亦年季之内御氣二入不申候へ者御勝手次第御曉御遣し可被下共其外如何様之六ヶ敷儀出来候共我等間出急度均明其元江御難儀

相應ケ申間敷候為後日之奉行人受状依而如件  
神戸市立深江生活文化史料館  
神戸市立大学の蔵書及び丸尾良子など  
と組み合せられるといいでしょ  
「民具」「深江生活文化史料館」「神  
戸市立大学海事資料科」「五葉亭  
屋敷跡」「深江の生活文化」「古文書  
室」があります。三階のミニホール  
の「クリオールーム」での児童の活用  
の評議會など  
「ヨーロッパ」「アーチーク」などでは講演  
や座談会、写真展などを開いてお  
ります。  
おがるにご相談ください。電  
話

## 灘の新聞 西撰新報

県立御影高校教諭 柏原正民

『西撰新報』は、武庫郡御影町、現在の神戸市東灘区で発行されていた地方新聞である。

同社は、明治三十九年（一九〇六）七月七日に、「地方開発、社会の羅針盤」をスローガンとして、御影町弓場において発足した。初代社長は本山村（現、東灘区本山北町）の松田新七、主筆は引田春洋であった。

大正二年（一九一三）八月には、本社を御影町字上西五九〇番地（現、東灘区御影本町八丁目、西ノ町会館の地点）に移転、印刷機を購入して、本社で印刷するようになった。発足当初は月三回の発行であったが、毎週月曜日の発行を経て、この時期には、毎週日・水曜日の二回発行するようになっていた。

昭和二年（一九二七）一月に社長の松田新七が没して、二代目社長に住吉村の別所丈太郎が就任すると、同年八月には金曜日にも増刊、週三回の発行となる。

昭和九年（一九三四）には、本社を住吉村に移転するが、この後の活動、廃刊の時期やその理由など不明である。

この新聞の大きさはタブロイド版（新聞紙半分一枚で、両面に印刷していた。大正七年（一九一八）には、一部二錢、一ヶ月の定期購読料は、十三錢、一年では一円四五錢であった。

支局は神戸・西宮・尼崎・大阪・伊丹・池田・有

馬・三田の各地にあり、まさに西撰全城をカバーしていた。

ローカルな記事と、コラム、投書欄、連載小説などに加えて、紙面に「醸造業報」として、灘五郷の清酒の輸出額などを記していることから、灘の酒造業者の関係が密であったことがわかる。

なお史料館には、大正七年（一九一八）四月七日発行の西撰新報が収蔵されている。

当紙は「神戸市史」新聞の項にも記載されているので、この新聞について御存知の方や、所持しておられる方があれば、史料館まで御連絡下さい。

昭和60年(1985年)3月7日 木曜日

子中 三 千 千

## 講演会が

チリに  
おける歴史教育

チリの元高教司教頭

イサベル・マーシュさん

神戸深江生活文化会館

（太平洋岸をむけた日本を語ろう）の無い（3・3）

**地方へ研修も**

**私立校も重要な役割**



一九四四年  
チリ訪問記

大正期、西撰新報購読部数（抄）

町村名	部数	現在	調査年
西宮町	300	西宮市	大正3
甲子園	20	リ	大正10
東灘	9	リ	大正10
大精	71	芦屋市	大正10
精道	54	東灘区	大正10
庄内	36	リ	大正10
村山	300	リ	大正10
影町	47	リ	大正4
甲子園	100	灘区	大正10
六甲		リ	大正10
西		リ	大正10

（武庫郡誌）による

# 街角の博物館が国際交流



用初等方法



料船と交流を深めたニューヨークランド・テアロバ  
地域博物館

五  
「神戸市は生活文化圏」  
で、  
五  
めでヨーロッパ連続街  
ている重慶深江本町三  
第一がユニバーシティ神戸  
大会の開催地会場に貢献な  
国際交流に貢献す  
すでに  
香川、ニコラーラード、オ  
ーストリアなどの國の博

住民の共有財産を整理していく  
極めてユニークな運営を続け  
ている唐津区深江本町三の  
五、「神戸深江生活文化史料  
館」が、

神戸深江生活文化史料館

## 友情の環

同前で、たまたま鷹士吏を留

本庄村史 資料編 第一卷

近世土地制度史料

卷之三

神戸市東灘区を構成する旧武庫郡五ヶ町村のうち、本庄村史のみが未刊であった。その

欠を補うため、今、村史の編纂が、深江財産区を中心に進められているが、その資料編の第一巻として、本書が刊行された。

講書を収録。神戸大学高尾教授の序文を含めて、約一二〇ページ。  
価格 一〇〇〇円

卷之三

問い合わせは、東洋所蔵戸田滋生活文化史料館へ（電話〇七八一四五三一四九八〇）  
ただし、土・日曜日の午前十時から午後五時までのみ受付。

神博て故戸

深檢  
BE  
和用

KOB

AN EXPLORATION OF HISTORIC KOREA

（二）在《中国民主政治的前途》一文中，胡适指出：

「神戸」は、1960年代と1970年代にかけて、国際連邦都市としてはじめての英文歴史解説書。神戸のプロフィール・神戸の歴史をはじめ、区毎に名勝・古寺・史跡・文学道跡・地名・植物名などを記載。英語112ページのほか、和語68ページを記載している。神戸を知らない人、外国人に神戸を知らせたい人、英語の勉強にも最適。神戸市内主要書店とさんちかインフォメーション神戸などで販売。

発行・神文書院 (078) 351-6660

## 研究会活動のご案内

関西学院大学文学部学生

伊東玲子

### 史料館研究会

史料館月例研究会は、毎月第3土曜日の午後3時から5時まで行われ、昨年の2月25日を皮切りに10回を数えています。以下がその記録です。

#### 第1回 '84・2・25 神戸地方史の参考文献について

田辺鎮人

#### 第2回 3・18 深江の民俗

望月浩・伊東玲子

#### 第3回 4・21 神戸の城郭

田部美知雄

#### 第4回 5・19 摂津名所図鑑講説会

浜田裕作

#### 第5回 6・16 寄贈文献整理の実務

博物館学(1)伊東玲子

#### 第6回 7・21 東神戸の考古学研究のあゆみ

日本史講座輪読—古代(1)

#### 第7回 8・26 東神戸の考古学研究のあゆみ

新修神戸市編集室・瀬賀一郎

#### 第8回 10・20 日本史講座輪読—古代(1)

新修神戸市編集室・木南弘

#### 第9回 '85・4・20 日本史講座輪読—古代(2)

新修神戸市編集室・山田正雄

#### 第10回 6・15 日本史講座輪読—中世(2)

新修神戸市編集室・藤井善年

#### 現在3回目を迎えた日本史講座輪読は、「岩波講座

日本歴史」(岩波書店1967)をテキストに、各時代の概説論文をとりあげて、ゼミナール形式で行っています。毎回大学生を中心にして10人程度が参加します。

動向と勉強方法は、学校での授業のような受身の勉強と違った楽しみを与えてくれます。

動向・おもちゃ博物館について

日本民族博物館・井上重義

船岡城とその時代

明石史跡調査会長・木村英矩

動向・明石の文化財調査計画

第1回 '84・4・21 二二名

第2回 5・19 二七名

第3回 6・16 二三名

第4回 7・21 二八名

第5回 8・17 十名

第6回 9・15 二二名

第7回 10・10 百名

第8回 11・17 二八名

第9回 12・15 一五名

月21日からはじまり、15回目の例会が6月15日に行われました。神戸史学会会誌「歴史と神戸」に論文を発表した研究者によるお話を、各研究分野・事業の動向報告という構成で、論文執筆の苦労や現在進行中の調査活動の情報など様々な話題に富んでいます。史料館研究会・神戸史学会例会とも、歴史・民俗に興心を持たれている方なら、自由に参加していただけます。詳しくは館員までお尋ねください。

### 神戸史学会研究例会

神戸史学会研究例会は史料館研究会同様、第3土曜日の、5時半から7時半まで開かれます。昨年4月21日からはじまり、15回目の例会が6月15日に行われました。神戸史学会会誌「歴史と神戸」に論文を発表した研究者によるお話を、各研究分野・事業の動向報告と論文執筆の苦労や現在進行中の調査活動の情報など様々な話題に富んでいます。史料館研究会・神戸史学会例会とも、歴史・民

俗に興心を持たれている方なら、自由に参加していただけます。詳しくは館員までお尋ねください。

講師は住んだモルガンお雪  
明石市立図書館・藤井善年

第5回 8・26 百名  
新修神戸市編集室・木南 弘  
動向・新修神戸市編集室・瀬賀一郎・藤井善年

第6回 9・15 二二名  
未田船橋美術館の委員・山田正雄  
動向・未田船橋美術館の建設について  
新修神戸市編集室・瀬賀一郎

第7回 10・10 六甲を考え方・元 正章  
第8回 11・17 六甲を考え方・元 正章  
第9回 12・15 三五名  
坂本龍馬と海軍練習所

第10回 13・22 八代院大講師・土居晴夫

第11回 14・29 八代院大講師・土居晴夫

第12回 15・5 二八名  
坂本龍馬と海軍練習所

第13回 16・12 二四名  
神戸市居留地

第14回 17・9 一八名  
神戸古代史研究会代表・真野 修

第15回 18・6 一九名  
明治の慶應義塾  
通信史研究会・吉井正彦

第16回 19・3 二二名  
動向・本庄村史の編集状況

第17回 20・10 二二名  
深江財産区管理課長・太田正雄

第18回 21・7 二二名  
坂本龍馬と海軍練習所

第19回 22・4 二二名  
動向・本庄村史の編集状況

第20回 23・11 二二名  
「KOBÉ-HISTORICA L・EXPLORATION」刊行について

第21回 24・8 二二名  
兵庫県委員会・クリス・ホガ



第11回例会。講師は落合重信氏。

## 資料寄贈者ご芳名

昭和六十年二月以降  
後藤略

## 史料館日誌抄

史料館主事 川口さつき

竹田一雄・桶・滑車等/寺田音松・さお檣・むし器/  
神戸市教育委員会・書籍/今林澄子・下駄・時計等  
一六八点/十倉佐代子・壺・看板/清水久雄・切手  
田辺眞人・書籍/磯辺信三・航空写真・落合重信・  
書籍/常松英司・ガラス製うき/芦屋市教育委員会  
書籍/杉田京・衣料切符等/近藤雅樹・書籍/生  
田義幸・深江青年団ハッピ/磯野孝夫・深江青年団  
团服/井浪昭幸・書籍二八八点/太田垣正堯・磯辺  
信三・深交ぐらぶ/佐原浩平・地図/橋本こはる・  
軍隊手帳/赤松恒廣・玩具・地図等二九八点/芦の  
芽グループ・芦の芽/加古川史学会・鹿児・常松誠  
たて笛・腕時計・植木稔・適塾/田中潤一・古銭  
望月浩・書籍/永本典生・日本刀/永業孝一・やぐ  
らごたつ・弦巻功・電気アーロン/六甲出版・書籍  
辻さみ子・印籠・古錢/立住隆典・活動映写機・フ  
ィルム/八尾重久・掛時計/森信夫・古文書・仏具  
松本ヤス・家庭トーキボーラブル等/清水裕之・書  
籍/清水勇・明治製菓兒童アルバム/宮崎英樹  
念品等/加藤一志・和本/志賀マス子・天秤ばかり  
備品寄贈者二方名/東亞特殊電機・ハンドマイク  
開などをご寄贈ください。



芦屋八百学童鳥ツブー



芦屋八百学童鳥ツブー  
の平成元年夏の会



ユニーク・シートのニュージー  
ランド展示会の教習会



芦屋八百学童鳥ツブー

史料館員・役員

太田垣正堯

小嶋

鶴岡

吉田

喜宣

伊東

玲子

高橋

智子

長谷川

弘志

佐藤

未夫

寺岡

一夫

寺岡

千子

門前

保治

喜宣

田辺

信三

田辺

眞人

佐原

浩平

多田

康治

納

春雄

田辺

久雄

田辺

光

兵藤

田辺

眞人

中山

明美

協力団体

東灘区役所

芦屋市教育委員会

神戸市立教育委員会

神戸市立森林植物園

武庫學史会

明石市立天文科学館

木庄分校

サンテレビ

神戸華僑博物館

大丸酒店

民家博物館西園寺

日本玩具博物館

明影高校附属幼稚園

大丸酒店

民家博物館

深江青少年協議会

神戸市視覚障害課

灘江ショッピングセンター